



# 柏陽中だより

5月号

令和5年5月2日（火）  
さいたま市立柏陽中学校  
岩槻区大字真福寺454  
電話 048(798)6655

《学校教育目標》温かい学校 喜びあふれる学校（・自ら学ぶ生徒 ・心豊かな生徒 ・粘り強い生徒）  
～ 希望の登校 満足の下校 ～

凡事徹底 あたりまえにできる人に

さいたま市立柏陽中学校  
校長 亀井隆司

柏陽中学校の周りの木々も青葉や若葉が目立つ季節となりました。今年は4月にもかかわらず夏日となったり、そうかと思えば急に寒さがぶり返したりと体にこたえるような天候が続いています。生徒たちは新学期が始まって3週間ほどが経ちましたが、それぞれ新しい学年、新しい学級でスタートを切り、全体的に落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っています。

年度当初に行われた入学式、始業式で私は柏陽中学校の生徒に「あたりまえにできるようになってほしい6つのこと」を伝えました。それは次の6つです。

- 1 あいさつをすること … 自分のことを知ってもらうきっかけになります
- 2 約束を守ること … 周囲の人との絆が深まります
- 3 自分も周りの人も大切にすること … たくさんの人から信頼されます
- 4 一生懸命、掃除をすること … 手を汚すことで心がきれいになります
- 5 自分の靴を丁寧にそろえること … 心を整えることができます
- 6 ありがとう、ごめんなさいが言えること … 自分に素直になることができます

どれもあたりまえに、また簡単にできそうなものであっても、ふと自分の生活を振り返ると意外と疎かにしているものもあるのではないのでしょうか。どれも自分自身にとって、また自分とかわる周りの人との関係の中で身につけておくことが大切であり、ましてこれから社会で活躍していく柏陽中生たちには「あたりまえにできる人」になってもらいたいと思います。凡事徹底（なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと）することによって、様々なことにチャレンジできる基礎をつくり、困難なことも乗り越えられるようになってもらいたいです。

小学生までは、手に取るようにわかっていた子どもの世界も、中学生となると急に親の視野から消えてしまうこともあります。思春期真っただ中の生徒たちにとっては、親が何か注意しようとするばすつと自分の部屋にこもってしまったり、反発して口答えしたりすることがあるかもしれません。しかし、そのような中でも「あたりまえにやるべきことはやろう」「自分でできることをやろう」とご家庭でもご指導いただければ幸いです。学校と家庭の両輪で生徒たちの成長を支えていければと思います。どうぞよろしく願っています。

吹く風も暖かく、すがすがしい5月となりました。3年生の修学旅行、本入部した1年生も加えて大会等に向けて頑張る部活動など、様々な活動の中で力をつけていく柏陽中生たちの活躍、成長が楽しみです。

